



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル

上場取引所 東

コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山和久

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

TEL 03-3504-1111

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	54,558	6.6	3,160	37.3	3,495	34.2	2,404	34.8
2019年3月期	58,426	2.1	5,036	7.2	5,314	7.1	3,686	8.4

(注) 包括利益 2020年3月期 2,300百万円 (36.9%) 2019年3月期 3,648百万円 (2.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	40.53		4.0	4.4	5.8
2019年3月期	62.14		6.4	6.6	8.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 41百万円 2019年3月期 58百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	79,572	60,627	76.2	1,021.97
2019年3月期	81,067	59,335	73.2	1,000.20

(参考) 自己資本 2020年3月期 60,627百万円 2019年3月期 59,335百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,748	723	1,008	37,231
2019年3月期	6,073	844	889	32,768

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		7.00		9.00	16.00	949	25.7	1.6
2020年3月期		8.00		8.00	16.00	949	39.5	1.6
2021年3月期(予想)								

・次期の配当につきましては、現段階では合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。今後予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

・2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行拡大の影響により、現時点では合理的な算定が困難であるため記載しておりません。今後業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。詳細については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況(次期の見直し)」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	59,400,000 株	2019年3月期	59,400,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	75,956 株	2019年3月期	75,916 株
期中平均株式数	2020年3月期	59,324,053 株	2019年3月期	59,324,084 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	54,041	6.8	3,069	37.5	3,394	34.2	2,336	34.7
2019年3月期	57,973	2.3	4,911	7.5	5,160	7.6	3,576	9.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	39.37	
2019年3月期	60.27	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	77,435	59,581	76.9	1,004.12
2019年3月期	78,940	58,521	74.1	986.26

(参考) 自己資本 2020年3月期 59,581百万円 2019年3月期 58,521百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	13
(税効果会計関係)	14
(退職給付関係)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
(開示の省略)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期におけるわが国経済は、国際間の貿易摩擦問題により企業の生産活動が鈍化し、消費税率の引き上げに伴う消費マインドの低下や相次ぐ自然災害などにより景気の停滞感が見られましたが、特に第4四半期以降は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により経済環境が激変し、これまでに経験がない危機的な状況に直面することになりました。

ホテル・観光業界も直接その影響を受けることとなり、渡航制限による訪日外国人客数の激減や政府のイベント自粛要請に伴う宴会利用の取り消し等、営業活動の大幅な縮小を余儀なくされました。

当社グループにおきましては、昨年開催されたG20首脳会議、即位の礼やラグビーワールドカップにおいて万全な態勢で臨み、グループの総力を挙げ高品質なサービスの提供に努めた結果、大きな成果を挙げその社会的責務を全うすることができました。また、11月からは本年の開業130周年に向け、「歴史にふさわしく 未来にふさわしく (More Imperial than ever)」をスローガンに掲げ、周年を記念した各種商品の販売やイベントを開催するなど、集客増とブランド力のさらなる向上に邁進してまいりました。

しかしながら第4四半期に入り、特に2月以降は感染症拡大による甚大な影響を受け、3月の客室販売数は前年比8割減少し、ほとんどの宴会が取り消しとなるなど、大幅な売上げの減少となりました。当社グループといたしましては政府の方針に則り、ホテル主催イベントの自粛、レストランにおける店舗休業や営業時間短縮、ブフェ形式のサービス方法の見直しなど感染症拡大の防止に全面的に協力するとともに、全従業員に対してはマスクの着用や手洗い消毒の徹底に加え、罹患リスクを避けるべく営業縮小に併せた出勤体制を執るなど、顧客および従業員の安全と安心の確保に全力を注いでまいりました。

以上の結果、当期における当社グループの売上高は、前期比6.6%減の54,558百万円、営業利益は、前期比37.3%減の3,160百万円、経常利益は、前期比34.2%減の3,495百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比34.8%減の2,404百万円となりました。

(セグメント別の概況)

ホテル事業につきましては、客室は、G20首脳会議、即位の礼やラグビーワールドカップに伴う各国賓客の受け入れや販売政策等により一室単価は前年を上回りましたが、特に2月以降は国内外ともに需要が急激に低下し、売上高は前年を下回る結果となりました。

宴会は、一般宴会は、総じて大型の法人宴会の受注が低調だったことに加え、2月以降の政府のイベント自粛要請に伴い取り消し等が相次いだことから大幅な売上減となりました。婚礼も、競合施設の改装等による販売競争の激化などから、件数、人数ともに減少し、売上減となりました。

以上のことなどから、売上高は前期比7.3%減の50,649百万円となり、営業利益は前期比35.3%減の3,561百万円となりました。

不動産賃貸事業につきましては、新規テナントの入居が好調であったことなどから、売上高は前期比3.5%増の3,929百万円となり、営業利益は前期比7.4%増の2,120百万円となりました。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による政府の緊急事態宣言に伴う経済活動の停滞や雇用・所得環境の悪化などにより景気は大きく後退することが予想されます。

ホテル業界におきましても、訪日外国人客数の激減や東京オリンピック・パラリンピックの延期による宿泊需要の低迷、政府の外出やイベントの自粛要請、さらに企業の収益悪化に伴う宴会利用の減少など、極めて厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような未曾有の状況において、当社グループは全事業所において営業活動縮小の継続を余儀なくされ、業績は大幅な悪化が予測されますが、全社的なコストを抜本的に見直すことはもとより政府が行う様々な経済対策や支援策も活用しながら経費執行を必要最小限に止めることを徹底し、収益の確保にグループ一丸となって注力してまいります。

さらに、従業員の社会生活の基盤となる安定した雇用の継続と就労へのモチベーションの維持に努めるとともに、顧客と従業員の安全、安心の確保を最優先課題と捉え、手洗いなど感染症予防や「3密」の回避等、行政と緊密に連携しながら対策を徹底し、感染症のまん延防止に向け全力を注いでまいります。

最終年度となる「中期経営計画 2020」につきましては、4つの重点課題である「安全性の追求」、「帝国ホテルブランドの向上」、「顧客満足の追求」、「イノベーションへの挑戦」に鋭意取り組み、常に変化する顧客や社会のニーズを的確に捉えた新たな商品・サービス・社会的価値の創造へグループ一丸となって邁進してまいります。

しかしながら、定量目標（2021年3月期の連結業績予想）に関しましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行拡大に伴う訪日外国人客・国内利用客の減少、感染拡大防止に向けた営業縮小等の影響により、足元においては、客室・宴会場ともに極めて低い稼働率となり、食堂などその他多くの営業施設も休業しており、現時点で合理的な算出が困難なため、未定とすることといたしました。

(単位：億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 定量目標	
			当初目標	修正目標
売上高	584	545	595	-
経常利益	53	34	55	-
経常利益率	9.1%	6.4%	9%以上	-

※ 2021年3月期の連結業績予想につきましては、今後業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,494百万円減少し79,572百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,138百万円増加し43,926百万円となりました。これは現金及び預金が増加したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,632百万円減少し35,645百万円となりました。これは有形固定資産が減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,600百万円減少し6,429百万円となりました。これは未払費用の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて185百万円減少し12,516百万円となりました。これは退職給付に係る負債の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,291百万円増加し60,627百万円となりました。これは親会社株主に帰属する当期純利益の計上などによるものであります。この結果、自己資本比率は76.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前 期 2019年3月期	当 期 2020年3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,073	4,748	△1,325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844	723	1,568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△1,008	△119
現金及び現金同等物の増減額	4,338	4,462	123
現金及び現金同等物の期末残高	32,768	37,231	4,462

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は37,231百万円となり、前年同期と比べ4,462百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は4,748百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益や減価償却費などにより増加し、法人税等の支払いなどにより減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は723百万円となりました。これは定期預金の払戻による収入などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,008百万円となりました。これは配当金の支払いによるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	71.4	73.2	76.2
時価ベースの自己資本比率(%)	161.3	148.0	113.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(3) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期に亘る安定的な経営基盤の確保による安定配当の継続を基本方針とし、株主の皆様への利益還元に努めてまいりました。

当期の期末配当金につきましては、当期の業績ならびに当社の基本方針を勘案し、8円の予定としております。当期の配当金は、既に実施済みの中間配当金8円に期末配当金8円を加えた年間16円の予定です。(連結配当性向39.5%)

次期の配当につきましては、現段階では合理的な業績予想の算定が困難であるため、記載しておりません。今後、予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

また、内部留保資金につきましては、施設環境の充実、競争力のある新商品の開発など安定した成長を継続するために有効に投資する方針であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内を中心に事業活動を展開していることから日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,768	27,231
売掛金	3,813	1,664
有価証券	13,008	13,704
貯蔵品	590	624
その他	608	704
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	42,788	43,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,129	13,220
土地	3,113	3,113
建設仮勘定	-	47
その他（純額）	2,444	2,265
有形固定資産合計	19,687	18,647
無形固定資産		
借地権	853	853
その他	501	332
無形固定資産合計	1,354	1,186
投資その他の資産		
投資有価証券	8,322	8,045
敷金及び保証金	3,329	3,327
繰延税金資産	3,459	3,312
その他	2,125	1,126
投資その他の資産合計	17,236	15,812
固定資産合計	38,278	35,645
資産合計	81,067	79,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,201	619
未払法人税等	897	163
未払費用	2,269	1,445
前受金	1,065	973
賞与引当金	1,225	1,209
建物解体費用引当金	256	-
その他	2,114	2,017
流動負債合計	9,029	6,429
固定負債		
退職給付に係る負債	6,979	6,844
資産除去債務	1,005	987
長期預り金	4,597	4,564
その他	118	119
固定負債合計	12,701	12,516
負債合計	21,731	18,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	56,206	57,601
自己株式	△89	△89
株主資本合計	58,980	60,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	935	669
退職給付に係る調整累計額	△580	△418
その他の包括利益累計額合計	355	251
純資産合計	59,335	60,627
負債純資産合計	81,067	79,572

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	58,426	54,558
材料費	12,788	11,474
販売費及び一般管理費	40,600	39,923
営業利益	5,036	3,160
営業外収益		
受取利息	33	34
受取配当金	41	39
持分法による投資利益	58	41
その他	143	218
営業外収益合計	277	334
経常利益	5,314	3,495
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前当期純利益	5,315	3,492
法人税、住民税及び事業税	1,600	894
法人税等調整額	28	193
法人税等合計	1,629	1,087
当期純利益	3,686	2,404
親会社株主に帰属する当期純利益	3,686	2,404

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,686	2,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△267
退職給付に係る調整額	139	162
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	△38	△104
包括利益	3,648	2,300
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,648	2,300

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,485	1,378	53,410	△89	56,183	1,113	△719	393	56,577
当期変動額									
剰余金の配当			△890		△890				△890
親会社株主に帰属する当期純利益			3,686		3,686				3,686
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△178	139	△38	△38
当期変動額合計	-	-	2,796	-	2,796	△178	139	△38	2,757
当期末残高	1,485	1,378	56,206	△89	58,980	935	△580	355	59,335

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,485	1,378	56,206	△89	58,980	935	△580	355	59,335
当期変動額									
剰余金の配当			△1,008		△1,008				△1,008
親会社株主に帰属する当期純利益			2,404		2,404				2,404
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△266	162	△104	△104
当期変動額合計	-	-	1,395	△0	1,395	△266	162	△104	1,291
当期末残高	1,485	1,378	57,601	△89	60,375	669	△418	251	60,627

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,315	3,492
減価償却費	2,672	2,658
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	-
有形固定資産除却損	0	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	△15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△154	△135
受取利息及び受取配当金	△75	△74
持分法による投資損益 (△は益)	△58	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	64	2,149
たな卸資産の増減額 (△は増加)	12	△34
仕入債務の増減額 (△は減少)	△109	△581
未払費用の増減額 (△は減少)	△359	△823
長期預り金の増減額 (△は減少)	141	△33
差入保証金の増減額 (△は増加)	0	1
建物解体費用引当金の増減額 (△は減少)	△31	△256
その他	299	△82
小計	7,742	6,227
利息及び配当金の受取額	122	121
法人税等の支払額	△1,791	△1,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,073	4,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,000	2,000
有形固定資産の取得による支出	△2,246	△1,344
投資有価証券の取得による支出	△907	△808
投資有価証券の売却による収入	2	-
投資有価証券の償還による収入	400	1,000
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	2	2
資産除去債務の履行による支出	-	△41
その他	△93	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844	723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△889	△1,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△1,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,338	4,462
現金及び現金同等物の期首残高	28,429	32,768
現金及び現金同等物の期末残高	32,768	37,231

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「未払費用の増減額(△は減少)」は、重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△60百万円は、「未払費用の増減額(△は減少)」△359百万円、「その他」299百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ホテル事業」及び「不動産賃貸事業」の事業を営んでおります。

「ホテル事業」は、ホテル事業及びこれに付帯する業務（委託食堂等を含む）をしており、「不動産賃貸事業」は、事業所及び店舗の賃貸管理業務をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（2019年6月27日提出）の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,650	3,775	58,426	-	58,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	20	20	△ 20	-
計	54,650	3,796	58,446	△ 20	58,426
セグメント利益	5,501	1,973	7,474	△ 2,437	5,036
セグメント資産	24,092	5,901	29,994	51,072	81,067
その他の項目					
減価償却費	2,178	368	2,546	126	2,672
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,985	27	2,012	-	2,012

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,649	3,909	54,558	-	54,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	20	20	△ 20	-
計	50,649	3,929	54,579	△ 20	54,558
セグメント利益	3,561	2,120	5,682	△ 2,522	3,160
セグメント資産	20,611	5,598	26,209	53,363	79,572
その他の項目					
減価償却費	2,169	339	2,509	149	2,658
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,423	33	1,456	-	1,456

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(税効果会計関係)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
繰延税金資産		
未払事業税	61 百万円	24 百万円
賞与引当金	377 "	372 "
退職給付に係る負債	2,152 "	2,109 "
減損損失	793 "	742 "
資産除去債務	307 "	302 "
その他	441 "	319 "
繰延税金資産小計	4,132 百万円	3,870 百万円
評価性引当額	△ 231 "	△ 233 "
繰延税金資産合計	3,901 百万円	3,637 百万円
繰延税金負債		
有形固定資産	△ 31 百万円	△ 25 百万円
その他有価証券評価差額金	△ 410 "	△ 299 "
繰延税金負債合計	△ 442 百万円	△ 325 百万円
差引：繰延税金資産純額	3,459 百万円	3,312 百万円

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社及び一部の連結子会社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けており、また、総合型確定拠出年金制度（日本ホテル業企業型年金）に加入しております。

なお、連結子会社の2社については、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
退職給付債務の期首残高	7,134 百万円	6,979 百万円
勤務費用	325 "	316 "
利息費用	46 "	46 "
数理計算上の差異の発生額	△ 15 "	△ 44 "
退職給付の支払額	△ 510 "	△ 452 "
退職給付債務の期末残高	6,979 百万円	6,844 百万円

(2) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	前連結会計年度	当連結会計年度
勤務費用	325 百万円	316 百万円
利息費用	46 "	46 "
数理計算上の差異の費用処理額	186 "	188 "
確定給付制度に係る退職給付費用	558 百万円	550 百万円

(3) 退職給付に係る調整額

退職給付に係る調整額に計上した項目（税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度	当連結会計年度
数理計算上の差異	201 百万円	233 百万円
合計	201 百万円	233 百万円

(4) 退職給付に係る調整累計額

退職給付に係る調整累計額に計上した項目（税効果控除前）の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
未認識数理計算上の差異	835 百万円	602 百万円
合計	835 百万円	602 百万円

(5) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表わしております。）

	前連結会計年度	当連結会計年度
割引率	0.7 %	0.7 %

3. 確定拠出制度

当社及び一部の連結子会社の確定拠出制度への要拠出額は、前連結会計年度 246百万円、当連結会計年度 234百万円であります。

(1株当たり情報)

項 目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,000円20銭	1,021円97銭
1株当たり当期純利益	62円14銭	40円53銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため、記載していません。

1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項 目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,686	2,404
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,686	2,404
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,324	59,324

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

リース取引、関連当事者情報、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、資産除去債務、賃貸等不動産に関する注記事項につきましては、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,546	25,925
売掛金	3,774	1,631
有価証券	13,008	13,704
貯蔵品	593	628
その他	616	704
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	41,538	42,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,129	13,220
土地	3,113	3,113
建設仮勘定	-	47
その他（純額）	2,414	2,234
有形固定資産合計	19,657	18,616
無形固定資産		
借地権	853	853
その他	500	332
無形固定資産合計	1,354	1,185
投資その他の資産		
投資有価証券	7,903	7,616
敷金及び保証金	3,327	3,327
繰延税金資産	3,034	2,971
その他	2,124	1,126
投資その他の資産合計	16,390	15,041
固定資産合計	37,402	34,843
資産合計	78,940	77,435

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,192	618
未払法人税等	880	153
未払費用	2,386	1,524
前受金	1,065	973
賞与引当金	1,167	1,151
建物解体費用引当金	256	-
その他	2,063	1,948
流動負債合計	9,012	6,369
固定負債		
退職給付引当金	5,737	5,866
資産除去債務	1,005	987
長期預り金	4,544	4,510
長期未払金	91	91
その他	27	28
固定負債合計	11,406	11,484
負債合計	20,418	17,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金		
資本準備金	1,378	1,378
利益剰余金		
利益準備金	371	371
その他利益剰余金		
別途積立金	40,141	40,141
繰越利益剰余金	14,293	15,621
利益剰余金合計	54,805	56,133
自己株式	△75	△75
株主資本合計	57,593	58,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	927	660
純資産合計	58,521	59,581
負債純資産合計	78,940	77,435

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	57,973	54,041
材料費	12,701	11,379
販売費及び一般管理費	40,360	39,592
営業利益	4,911	3,069
営業外収益		
受取利息	32	33
受取配当金	72	72
その他	142	217
営業外収益合計	248	324
経常利益	5,160	3,394
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産除却損	0	3
特別損失合計	0	3
税引前当期純利益	5,161	3,391
法人税、住民税及び事業税	1,574	873
法人税等調整額	11	181
法人税等合計	1,585	1,054
当期純利益	3,576	2,336

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計				
				別途 積立金	繰越利益 剰余金				その他 有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,485	1,378	371	40,141	11,607	52,119	△75	54,907	1,103	56,010
当期変動額										
剰余金の配当					△890	△890		△890		△890
当期純利益					3,576	3,576		3,576		3,576
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									△175	△175
当期変動額合計	-	-	-	-	2,686	2,686	-	2,686	△175	2,510
当期末残高	1,485	1,378	371	40,141	14,293	54,805	△75	57,593	927	58,521

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計				
				別途 積立金	繰越利益 剰余金				その他 有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,485	1,378	371	40,141	14,293	54,805	△75	57,593	927	58,521
当期変動額										
剰余金の配当					△1,008	△1,008		△1,008		△1,008
当期純利益					2,336	2,336		2,336		2,336
自己株式の取得							△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									△267	△267
当期変動額合計	-	-	-	-	1,327	1,327	△0	1,327	△267	1,059
当期末残高	1,485	1,378	371	40,141	15,621	56,133	△75	58,921	660	59,581